

日本放送作家賞

第12回 日本放送作家協会賞

放送作家賞

昭和47年5月22日 於ホテル・ニュージャパン

協会



協会賞ブロンズ像

この像は、柳原義達先生の造型による「明日への希望」を表わしたものです。左手の「ふたば」は、出発点の意。この賞を得て、改めてこれを起点として精進していただきたいという願いをこめて、造られたものです。

協会賞選考委員

担当常務 西沢 実

優秀番組賞 委員長 久板栄二郎

委員 伊馬春部 内村直也 内山惣十郎 岡本克巳 来宮洋一 寺島アキ子 西島 大 野口いさを 羽柴秀彦 やなせ・たかし 村田修子

演出者賞 委員長 伊馬春部

委員 江上照彦 田井洋子 高橋玄洋 水原明人 山下与志一

男女演技者賞 委員長 岡本克巳

委員 宇津木澄 門川美代子 近藤若菜 西条道彦 阪田寛夫 柴英二郎 松本重美

大衆芸能賞 委員長 内山惣十郎

委員 大野 桂 金田達夫 神津友好 小島貞二 鈴木みちを 野口いさを 福井貞則 松浦泉三郎

CM作品賞 委員長 やなせ・たかし

委員 門川美代子 狩野 新 来宮洋一 佐々木陽子 本庄一郎 若尾徳平

協会賞式典委員会 委員長 大林 清

委員 西沢 実 宇津木澄 門川美代子 狩野新 来宮洋一 神津友好 松本重美

選考経過

第十二回日本放送作家協会賞は、協会のアンケートをもとに、各部門委員会(委員名は別掲)で選考がおこなわれた。

優秀番組賞では「天皇の世紀」「男は度胸」「天下御免」等も候補にあげられたが、結局「みなしごハッチ(竜の子プロ)」と「日本史探訪」の二本に決定した。この二作品は昨年度も、有力候補にあげられていたもの。

演出者賞のラジオ部門は「浜鳴り」(NHK)の竹内日出男氏に決定。「ヒマラヤP七二九」(QR)の玉井和雄、「朝の歳時記」(CBC)の上原次郎の両氏も最終審査に残っていたが、竹内氏のオーソドックスな手法ながら、ラジオ・ドラマとして一つの頂点を示す、質の高さが評価された。テレビ部門では、最終候補に、「女徳」(MBS)の瀬木宏康、「おかしな夫婦」(CX)の小林俊一、「天下御免」(NHK)の岡崎栄の三氏があげられたが、その中から、瀬木氏に決定。脚本の意図する人間像をひたすら追及する演出態度が高く買われた。

男性演技者賞は、若山弦蔵、近藤正臣、あおい輝彦、児玉清が最終候補に残ったが、主演、助演に拘らず、役の位置を適確にわきまえた演技の児玉清に票が集まった。

女性演技者賞は、良い意味での娯楽性をも演技の枠の中につつまこみ、パーソナリティを超えて女を演じきるようになった、小川真由美に決定。他に、北林谷栄、山岡久乃、悠木千帆が有力候補にあげられていた。

大衆芸能賞の演芸部門は、三十三候補の中から、笑福亭仁鶴、若井はんじ・けんじ、京極佳津照が最終に残ったが、四十六年度に華々しい活躍をした笑福亭仁鶴に今後の芸道奨励の意味も含めて、賞を贈ることにした。ショー部門では、大橋巨泉、小川宏、桂小金治、落合恵子、いかりや長介等も、有力候補にあげられたが、ショーマンとして、多芸多才な三波伸介に全員一致で決定した。

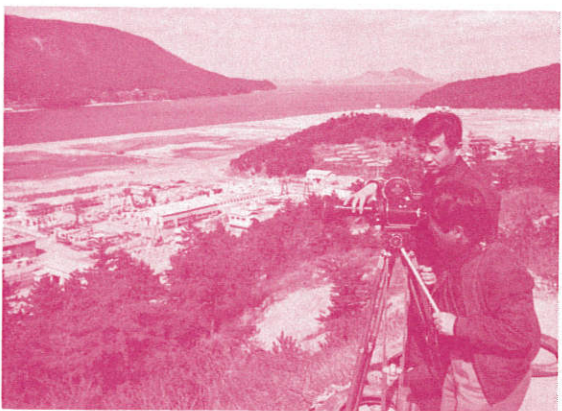
CM作品賞は、最終で「桃屋」(中外製菓)「丸井」の三点に選ばれたが、決戦投票の結果、「ガンバラナクッチャ」の新グロモント「中外製菓」に決定した。尚「桃屋」は、毎年アンケート上位に入っていて、努力賞を、という委員会の声もあった。

この他、本年度は特に、宮田輝氏(NHK)に「特別賞」を贈ることにした。宮田氏の放送界に於ける業績は、いかに高く評価しても過ぎるということはない。各部門委員長、全員一致で、決定をみた。

優秀番組賞

「日本史探訪」

N H K



「日本史探訪」は、フィルムによる歴史紀行と個性的なゲストの話の面白さを楽しみながら、歴史を見る目をゆたかにすることを狙いとして、昭和45年4月発足し、以来80本余りを放送してきた。別に取材したフィルムと話を組合せるという新しい手法も効果をあげ、歴史番組を大衆に親しいものとするという、当初の意図は十分に達成された。

清新な

歴史への眼

久板栄二郎

近年、歴史への関心の高まりを反映して、ドラマに、ノンフィクションに、多彩な歴史もの番組が競い合っている。

なかには、必ずしも歴史を正しく伝えないもの、時には歴史を無視・歪曲したドラマ番組さえ見受けられる。娯楽本位の番組では、それも止むを得ないことであろう。

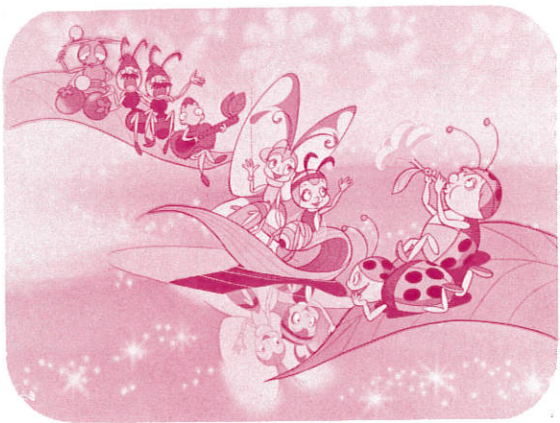
「日本史探訪」は、歴史に真正面から取り組みながら、充分に視聴者の興味をつなぎとめて、既に二年以上もつづいている優秀番組である。二年目の本年度に於ても、なお且つ、いささかのたるみ、情性を感じしめず、主題の選定、ゲストの組合せなど、つねに清新さを維持していることの際には、制作スタッフ一同の、並々な努力が隠されていることと思う。

番組は三年度を迎えて、なお続いている。いつその充実発展を期待してやまない。

優秀番組賞

「みなしごハッチ」

竜の子プロダクション



株式会社竜の子プロダクション 代表取締役 吉田龍夫 吉田健二 吉田豊治
設立 昭和37年10月19日
所在地 東京都国分寺市北5の5の6
同社の主な作品は次の通り
「宇宙エース」「マッハGOGOGO」「おらあぐすらだど」「ドカチン」「紅三四郎」「ハクシオン大魔王」「みなしごハッチ」「いなかっぺ大将」「煙の木モック」他

母と子といつしよに

楽しみ学ぶ作品

村田修子

「みんな友達仲間だけれど、母さん欲しかる、悲しかる」

「愛と勇気を背中にしよってゆけばこの世に敵はない」
「行け行けハッチノ! みつばちハッチ」
「とべとべハッチノ! みなしごハッチ」
……と、いろいろな歌で冒険的気分を盛りあげてはじまるが、いやに奇をてらったり、変に感傷に流れたり、妙な漫画ことばをつかったり、などのことがなく、こどもの漫画映画として上出来である。いろいろな昆虫のおもしろい姿や習性をとり入れて、ハッチが母蜂を探し求めて冒険していく道中のさまざまな昆虫たちとの間のできことを描き、スリルもあり、ヒューマンなおもしろい作品で、この次はどんな面白い昆虫が出てくるかしら? と、正に、母と子といつしよに楽しみ学ぶ番組であった。

演出者賞

(テレビ部門)

瀬木宏康

MBS



瀬木宏康氏は、

(せき・ひろやす)

大正15年11月21日生れ。昭和26年、京都大学文学部卒。同年、新日本放送に入社。ラジオ・ドラマの演出では「水曜日の秘密」「アルサーヌ・ルパン」「大菩薩峠」等がある。昭和34年、テレビ開局と同時に、テレビの演出に移り、「怒涛日本史」「テレビ文学館」「千姫」「わが父北条」(芸術祭優秀賞)「女徳」「あなたならどうする」等の作品がある。

瀬木宏康さん

を推す

茂木草介

瀬木宏康さんと私は、毎日放送のNJB時代から、演出と脚本という相関関係で二十一年間のお付き合いがある。はじめは、放送界が若かったように我々も若くて、どちらも多忙にまかせて数多い仕事を押し通すような一面もあったが、それでも瀬木さんの仕事にはいつでもどこかにキラリとした才能のひらめきがあつてよかつた。そういうひらめきが歳月とともに円熟した。「女徳」の脚本は体裁からいえば地味でオーソドックスなものだが、それをあれまでに仕上げたのはまったく瀬木さんの力である。その力の根源は人間とその生活への深い洞察である。月並みない方だが、やはり長い歳月の積み重ねがものを言っている。私は、瀬木宏康さんの演出者賞に、いささかのためらいも持たない。

演出者賞

(ラジオ部門)

竹内日出男

NHK



竹内日出男氏は、

(たけうち・ひでお)

昭和8年11月26日生れ。東京大学文学部仏文学科卒。昭和32年4月、NHK入局、盛岡放送局を経て、芸能局へ移る。「きぬという道連れ」で、芸術祭奨励賞、その後「夜の鳥」「北の祭」「多良間シヨンカネ考」「浜鳴り」は、いずれも芸術祭優秀賞を獲得している。この他、芸術劇場、文芸劇場、海外ラジオドラマなどに、すぐれた演出作品が、多数ある。

竹内日出男の

「両極」を

伊馬春部

芸術祭ラジオ部門において毎年のように受賞しているディレクターである。昨年度の「浜鳴り」(三浦哲郎オリジナル)も、実質上のグランプリといってもよい完成品であった。この作が示しているように、竹内日出男には好んで東北・南部地方を中心とした風土・民情に材をとった佳作が多い。土俗の土着性が、かれのオーソドックスな手法によっていかに光芒を放ったことか。

その彼が昨年の海外ドラマ特集においては、不条理の世界をえがいた「メンツ」(マルタ島放送局作品・加藤嘉主演)の演出で、もう一面の卓拔さを示した。つまり新しい「極」の開拓である。

ドイツにおける〈全欧州EBCラジオドラマ専門家会議〉に出席し発言した体験も、大いに役立ったであろうことが想像されるが、ともあれこれからの竹内日出男は嬉しい。期待するところのもの頗る大である。

男性演技者賞

児玉 清



児玉清(こだまきよし)
 本名、北川清士。昭和8年12月26日生れ。学習院大学独文科卒。
 昭和32年、東宝に入り、映画「別れて生きる時も」でデビュー。昭和42年、フリーとなり、テレビを中心に活躍。主な出演番組は、TBS「肝っ玉かあさん」「みかん・きんかん・夏みかん」、NTV「花は花よめ」、その他、NET「十一時ショー」の司会でも人気をあげている。
 現住所、東京都渋谷区千駄ヶ谷3の60の1。

“わきまえた”

演技

岡本克巳

ごくあたり前のことだが、脚本家は俳優の肉体を通ることを前提にして書く。当然、行間をまかせられる俳優と、足手まといになるのがある。一見足手まといにならないように見えて困るのは「私が私」"としゃしゃり出てくる奴である。それは勿論演出のあり方でもあるけれど、私たちの立場から云えば、脚本の意図にそって登場人物の位置を適確にふまえるのが俳優として最も光ることなのである。
 児玉さんは、そこを実に賢明にわきまえて、表現出来る人である。この賞について今更という声も予想しないではないが昨年半年の付合でまだ拡がる可能性を觀せて貰った。
 長身のこの人はしばしば見おろす形になる。その時、心ならずもという気持がやや猫背にした躰中にみなぎるのである。

女性演技者賞

小川真由美



小川真由美(おがわまゆみ)
 本名、細川真由美。昭和14年10月7日生れ。和洋女子大國文科卒。
 昭和36年、文学座に入り、「日本の孤島」で初舞台をふみ、映画は「二匹の牝犬」でデビューした。昭和46年、退団。吉田史子事務所に所属して、放送、映画、舞台で活躍中。主な出演番組は、NTV「孤独の賭け」「愛と死の砂漠」、CX「浮世絵女ねずみ小僧」など。
 現住所、東京都港区南青山4の5の15。

“牡丹の花”

の演技

高橋玄洋

画家の友人が、牡丹の大輪を見て「この柔かさこそ筆舌につくせない」と云うんだろうな」と云ったことがある。

小川さんは、とても美しい人である。私はその美しさをバラのそれだと思っていたし、あまり美しすぎて、演技者としては損をして来られたように思う。

バラだと思っていたら、いつの間にか、牡丹にかわっていたと云うのが実感である。美しさと演技力とをうまく合体させたのであろう。今年の活躍は、静動おりませて絢爛の一語につきる様な気がする。牡丹の豊かさ美しさは、小川さんにおいては、ちよっと考えられない感じである。

大衆芸能賞

(演芸部門)

笑福亭仁鶴



笑福亭仁鶴(しょうふうくていにかく) 本名、岡本武士。昭和12年1月28日生れ。昭和37年、笑福亭松鶴の門に入り、昭和39年から吉本興業専らに所属、「なんば」「うめだ」「京都」の花月劇場に出演。昭和46年、「府民劇場奨励賞」受賞。主な出演番組は、「MBS「ヤング・おーおー」-ファミリィ・スタジオ」、ABC「只今恋愛中」-笑って笑って30分」、NHK「お笑いオン・ステージ」など多数。現住所、大阪府豊中市緑ヶ丘2丁目。

更に一層の

の精進を

松浦泉二郎

上方古典落語の今後のにない手の一人として、第八回の桂米朝師に次いで、笑福亭仁鶴師が全会一致で今回の受賞者に選ばれたことを喜びたい。師はたんに上方古典落語の興隆のために精進、貢献に努力しているのみでなく、「ヤングおーおー」-お笑いネットワーク」その他数多い番組の司会者として独自のカラーを出し、四十六年度放送演芸界の寵児となり得たことは周知の通りで、本協会員からのアンケートにもそれは現われ、次点を大きく引き放し、断然トップを独走していた。が、それは謂わば二次的なものであり、本部門の対象とするところはあくまでも上方落語であるが、師は将来斯界に何かしら新しい道を拓く素地をもっていることがうかがわれる。それを更にたゆまぬ精進に依って、見事に開花させてくれる日を我々は心から期待したい。

大衆芸能賞

(シヨ一部門)

三波伸介



三波伸介(みなみ・しんすけ) 昭和5年6月28日東京生れ。本名、沢登(さわと)三郎。日大二商時代、演劇部を結成、第一回公演の演出を担当。昭和22年、旅廻りの一座に入る。後、東京少年劇団を経て、浅香光代一座へ。昭和37年、てんぶくトリオを結成、以来、日本中をてんぶくさせる大爆笑の渦に巻きこむ。この間、黒沢明監督の「どですかでん」で、シリアスな演技者として、「笑点」では、有能な司会者として大活躍。

弛まぬ

努力の結晶

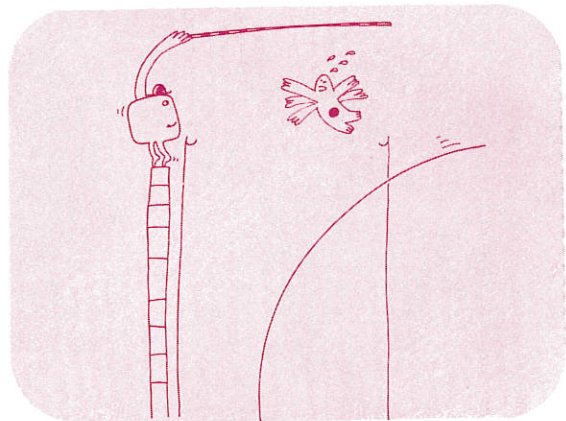
内山惣十郎

三波伸介君は、「存じへてんぶくトリオ」の親分である。トリオが結成されてすでに十一年、戸塚睦夫、伊東四郎の両君も、一本立ち出来るタレントに成長した。(てんぶくトリオ)のすぐれた点は、同じネタを繰返してやらぬこと、常に新作を演じていること。と角売れっ子になると、人気に溺れて新作物をやる意欲さえ喪失し、泡沫の如く消え去ってゆくトリオの如何に多いことか。そうした中であって、十一年の生命を保ち続けていることは、三波君を中心とするトリオが、常に新鮮なコントを生み出す真摯な努力の結果である。だがその陰に、絶えず新作台本を提供している、井上ひさし君の功績を無視することは出来ない。三波君は喜劇俳優としても勝れた才能があり、本格的喜劇の研鑽を積むならば、昭和の曾我廼家五郎にもなれる立派な素質がある。

CM作品賞

「新グロモント」

中外製薬株式会社



中外製薬株式会社 創業、大正14年6月 設立 昭和18年3月 資本金 27億円 取締役社長 上野公夫
同社は昭和5年「ザルソプロカノン」の製品化に成功、中外の名を世にひろめた。戦後は研究技術陣の強化に力を注ぎ、昭和26年には、画期的製品となった、グロンサン注射液。27年には、殺虫剤バルサン。28年にはグロンサン末錠など代表的な製品を次々に開発した。
受賞作品「新グロモント」のCFは、「キヤップ」の製

ふしぎな哀しみ

とおかしさ

やなせ・たかし

新グロモントのなまけなような頼りない男のキャラクターが発する「ガンバラナクツチャノ」という弱々しい声は、なぜか男の心にぐざりとばかり命中した。

CM作品がますますドラマチックになっていく現代に反逆するようにもっとも単純な白黒の線と、有名タレントに依存しない製作態度はそれ自身ひとつの痛烈な諷刺になっていた。

そこが高く評価された。そして去年という年の社会的な風潮をもこの一見稚拙なアニメCMはみごとに反映させていた。

しかし、新グロモントの延長線上には、おそらく来年のCM賞はないと思う。過ぎていく時代のひとつの個性的作品として、そのふしぎな哀しみとおかしさを推奨したい。

特別賞

宮田 輝

NHK



宮田輝（みやた・てる）

大正10年12月25日東京生れ。

NHKアナウンス室、兼芸能

局チーフ・アナウンサー（主

幹）。定期的な主な放送番組

は、「ふるさとの歌まつり」

（7年目）、「紅白歌合戦」

「大地に生きる」（ラジオ帯

ドラマのナレーター、14年目）

「芸能独演会」など。

現住所、東京都世田谷区代沢

3の12の16。

輝さんのこと

西沢 実

宮田輝さんのことを、いまさら解説したり推薦したりするのは、当方が気恥ずかしい。だいたい、輝さんに賞を…ということ、ナニモいままさら…というもんである。

のど自慢・三つの歌・紅白歌合戦、それぞれの司会者として、特に視聴者参加番組に活力と将来性を与えた、その功績がデカイのである。しかも、当年なお新鮮味を失わない才能は他の追隨を許さない。特別賞の意味が、そんなところにあるのである。

「いいのかねエ？私が…：こときが、頂いてサ…？」

電話のむこうでてれた。宮田でれさんになった。

受賞ときまつたとき、伊馬春部委員が、「NHKの朝のラジオドラマの語り手でも功績ありですよ。脚本は岩間氏も書いてはるはずだから、忘れないでくださいよ。」と、つけ加えられた。

受賞者一覧

日本放送作家協会賞

- 第一回(36年)
 企画賞「日本の素顔」(NHK)
 演出者賞 せんぼんよしこ (NTV)
 男性演技者賞 松村達雄
 女性演技者賞 黒柳徹子
 スポンサー賞 東京芝浦電気株式会社
 TRG賞 和田勉(NHK)
 サンキュー賞 文化放送本社受付 一同
 館野淑子 (TBS受付係)
- 第二回(37年)
 企画賞「兼高かおる世界の放」(TBS)
 演出者賞 山田智也(ABC)
 男性演技者賞 大坪都築(文化放送) ハナ肇とクレージーキャッツ
 女性演技者賞 池内淳子
 スポンサー賞 株式会社資生堂 エスビー食品株式会社
 TRG賞「娘と私」番組関係者
 サンキュー賞 東京新聞ラジオテレビ欄 (NHK)
- 第三回(38年)
 企画賞 中川忠彦(NHK)
 演出者賞 田甫一郎(NHK) 橋本信也(TBS)
 男性演技者賞 芦田伸介
 女性演技者賞 大空真弓
 スポンサー賞 三共株式会社
 TRG賞「夫婦百景」(NTV)
 サンキュー賞 東京放送劇団 ニッポン放送効果班
- 特別功労賞 吉田秀雄
- 第四回(39年)
 企画賞 大映株式会社テレビ室
 演出者賞 N八橋卓(NET)
 男性演技者賞 山口淳(NHK) 藤田まこと
- 女性演技者賞 中村メイ子
 大衆芸能賞 古今亭今輔
 CM作品賞 セイコー企業CFの製作スタッフ
 スポンサー賞 スズキ自動車工業CFの製作スタッフ
 スポンサー賞 近畿日本鉄道株式会社
 TRG賞 梅本重信(NHK)
 サンキュー賞「チロリン村とクルミの木」関係者一同
- 第五回(40年)
 企画賞「風雪」(NHK)
 演出者賞 久野浩平 (RKB毎日)
 「シルバークレーの空間」演出者グループ (ニッポン放送)
 男性演技者賞 今福正雄
 女性演技者賞 南田洋子
 大衆芸能賞 牧伸二
 TRG賞「おかあさん」(TBS)
 「山本富士子アワー」CM作品賞「アイデアル」
 サンキュー賞「オヤカマ氏とオイソガ氏」(文化放送)
- 第六回(41年)
 企画賞「日産スター劇場」(NTV)
 演出者賞「日本の謎」(毎日放送)
 男性演技者賞 岡山尚幹(フジテレビ)
 女性演技者賞 長門裕之
 大衆芸能賞「お笑い三人組」関係者(NHK)
 特別賞「FM名作劇場」(NHK)「木島則夫モーニングショー」司会者トリオ(NET)
 CM作品賞「文明堂豆劇場」(文明堂)
 サンキュー賞「お天気ママさん」(TBS)
- 第七回(42年)
 最優秀番組賞「現代の映像」(NHK)

- 演出者賞
 テレビ部門 今野勉(TBS)
 ラジオ部門 田辺春夫(NHK)
 男性演技者賞 中村錦之助
 女性演技者賞 佐藤オリエ
 大衆芸能賞 獅子てんや・瀬戸わんや
 CM作品賞 パイロット萬年筆株式会社
- 新人脚本賞 渡辺やえ子「町」
 「バラのとげ」
 同 燕木利代「賽の河原の鬼ン姿」
- 第八回(43年)
 最優秀番組賞「広島原爆三部作」(広島テレビ)
 演出者賞 小川秀夫 (フジテレビ)
 テレビ部門 沖野 暉(NHK)
 ラジオ部門 渥美 清
 男性演技者賞 渡辺美佐子
 女性演技者賞 桂 米朝
 大衆芸能賞「トヨタカローラ」(トヨタ自動車販売) 戸麻竜悟「うたてなや」
- 第九回(44年)
 最優秀番組賞「ひよっこりひょうたん島」(NHK)
 「私の昭和史」(東京12チャンネル)
 演出者賞 小川秀夫
 テレビ部門「ボラ名作劇場」演出者グループ (NET)
 ラジオ部門 香西 久(NHK)
 男性演技者賞 川崎敬三
 女性演技者賞 栗原小巻
 大衆芸能賞 一竜斎貞鳳
 CM作品賞「純生は生きている」(サントリー株式会社)
- 第十回(45年)
 最優秀番組賞「題名のない音楽会」(NET)
 「朱鷺の墓」(NHK)
 演出者賞 柳下英彦 (東海ラジオ放送)
- 男性演技者賞 金田竜之介
 女性演技者賞 高橋幸治
 大衆芸能賞 コロンビア・トップライト
 CM作品賞「カルピス」(カルピス食品工業株式会社)
 第十一回(46年)
 最優秀番組賞「人間の歌シリーズ」(木下恵介プロダクション)
 「Uボートの遺書」(NHK)
 演出者賞 末盛憲彦(NHK)
 テレビ部門 鈴木久尋 (文化放送)
 ラジオ部門 堺 正章
 男性演技者賞 堺 正章
 女性演技者賞 十朱幸代
 大衆芸能賞 東京落語会(NHK)
 演芸部門 糸居五郎 (ニッポン放送)
 ショー部門「ハウスジャワカレー」(ハウス食品工業株式会社)

《コーセーの最高級化粧品シリーズ》

アルファード

美しいお肌をつくる——
これがコーセー化粧品の
ライフワークです



 **コーセー化粧品**

発行 社団法人 日本放送作家協会
港区六本木 六ノ二ノ五 原ビル

編集 日本放送作家協会 広報委員会